

研修記録用紙記入の手引き(臨床遺伝専門医認定試験用)

【共通の提出書類】: チェックシート、様式1-2-1、様式1-2-2、様式1-2-3

1. 認定研修施設に在籍する医師の場合

提出書類: 様式1-2-4、様式1-2-6、様式1-2-7、様式1-2-8

- (1) 認定研修施設名、認定研修施設における指導責任医名、研修期間(様式1-2-4)
- (2) 研修施設における研修内容(行動目標に記載されている能力を獲得するためにどのような指導を受けたのかを具体的に記載すること)(様式1-2-4)
- (3) 参加した日本人類遺伝学会学術集会あるいは日本遺伝カウンセリング学会学術集会のリスト(大会名、大会長、期日、場所を記載し、参加証のコピーを貼付すること)(様式1-2-4)
- (4) 研修施設以外で行った研修(他施設で行った場合はその研修内容を記載、遺伝医学セミナー等の研修会に出席した場合は研修会名、期日、場所を記載し、参加証のコピーを貼付すること)(様式1-2-4)
- (5) 所属する施設で研修領域(周産期・小児期・成人期)を網羅できない場合は、ロールプレイ実習のある研修会に参加し、不足領域のロールプレイに1回以上参加すること(研修会名、期日、場所を記載し、参加証のコピーを添付すること)(様式1-2-4)
- (6) 認定研修施設以外の施設に在籍していた期間に応じた割合で、対象セミナー(細則6条を参照)のそれぞれの獲得単位数とロールプレイ実習回数(研修会名、期日、場所を記載し、参加証等のコピーを貼付すること)(様式1-2-4)
- (7) 臨床遺伝関連の原著論文(症例報告を含む)または総説2編以上のリスト(研修期間外の論文も可)。著者全員の名前、タイトル、発表雑誌名、巻:頁一頁、西暦年を記載すること。臨床遺伝に関する学会発表を2回行った場合には、論文1編に代える事が可能(共同演者を含む)。この場合は発表者全員の名前、演題名、学会名、開催期日、場所を記載すること。なお、申請者名にはアンダーラインを引くこと(様式1-2-6)。
- (8) 症例リスト(申請者が遺伝医療を行った20症例のリスト)(様式1-2-7)。そのうち5症例の詳細を記載すること(様式1-2-8)。20症例の症例リストは診療内容がわかるようにそれぞれの項目について50-100字程度で簡潔に記載し、5症例の詳細は各症例について家系図を含め1症例につき指定の様式2枚程度に詳しく記載すること。ただし、5症例のうち、少なくとも3症例は申請者自身が遺伝カウンセリングを行った症例とする。症例リストおよび症例詳細を記載した文書には指導責任医の署名・捺印が必須。幅広い研修を行ったことを示す症例を選択して記載すること。2022年12月の専門医制度委員会で書式の変更を行なっているので注意のこと。「症例リスト記入例と記載の注意点」を参考に記載のこと。(場合によって再提出を指示することがある。)

2. 研修施設以外の施設に在籍する医師の場合 提出書類: 様式1-2-5、様式1-2-6、様式1-2-7、様式1-2-8

- (1) 指導医名と指導医による研修内容(到達目標に記載されている能力を獲得するためにどのような指導を受けたのかを具体的に記載すること)(様式1-2-5)
- (2) 参加した日本人類遺伝学会学術集会あるいは日本遺伝カウンセリング学会学術集会のリスト(大会名、大会長、期日、場所を記載し、参加証のコピーを貼付すること)(様式1-2-5)
- (3) 参加したセミナーのリスト。対象セミナーは細則6条を参照。それぞれの獲得単位数とロールプレイ実習回数(研修会名、期日、場所を記載し、参加証等のコピーを貼付すること)(様式1-2-5)

- (4) 参加した委員会の定める遺伝カウンセリング研修プログラムのリスト(参加したことを証明するものを貼付すること) (様式1-2-5)
- (5) 臨床遺伝関連の原著論文(症例報告を含む)または総説2編以上のリスト(研修期間外の論文も可)。著者全員の名前、タイトル、発表雑誌名、巻：頁一頁、西暦年を記載すること。臨床遺伝に関する学会発表を2回行った場合には、論文1編に代える事が可能(共同演者を含む)。この場合は発表者全員の名前、演題名、学会名、開催期日、場所を記載すること。なお、申請者名にはアンダーラインを引くこと(様式1-2-6)。
- (6) 症例リスト(申請者が遺伝医療を行った20症例のリスト)(様式1-2-7)。そのうち5症例の詳細を記載すること(様式1-2-8)。20症例の症例リストは記載例を元に簡潔に記載し、5症例の詳細は各症例について家系図を含め1症例につき指定の様式2枚程度に詳しく記載すること。ただし、5症例のうち、少なくとも3症例は申請者自身が遺伝カウンセリングを行った症例とする。症例リストおよび症例詳細を記載した文書には指導医の署名・捺印が必須。幅広い研修を行ったことを示す症例を選択して記載すること。2022年12月の専門医委員会で書式の変更を行なっているので注意のこと。「症例リスト記入例と記載の注意点」を参考に記載のこと。(場合によって再提出を指示することがある。)